

<今日の説教のポイント ルカによる福音書3章21～22節>
神様が用いられたルカがイエス様の受洗に聞き取った大切な点を追う。

①民衆と共に受けられた洗礼 — 十字架の死の先取りを見る！

「民衆が皆洗礼を受け、イエスも洗礼を受けて」(21)。悔い改める(神に向き直す)必要のないイエス様がなぜ洗礼を受けられたのでしょうか？ イエス様は後に、自分のためでなく、罪人である私たち全ての者の罪を負って十字架にかかって下さった方です。民衆と共に受洗されたこの行為にその開始を見取ることが大事です。すなわち、罪がないのに罪人である民衆、すなわち私たちと共に歩んで下さることを示す行為の開始であり、私たちは、この先に用意された父なる神様の大きい赦しの恵みまで目をやり、「あなたも、このように神の招きを受け入れなさい」と呼びかけて下さっていることに思いを向けたいと思います。

②イエス・キリストによって、神様の救いの到来を願う祈りが聴かれた！

「祈っておられると」(21)。イエス様は大事な行為に取りかかれる前に父なる神様に向かって祈られました(ゲッセマネの園)。この時は何に取りかかろうとされていたのでしょうか？ 宣教の開始です！(第4章)。祈られていると、**「天が開け、聖霊が鳩のように見える姿でイエスの上に下って来た」(21-22)**とあります。この宣教の開始というイエス様の祈りが父なる神様によってよしとされたのです。**「すると、『あなたは私の愛する子、わたしの心に適う者、』という声が、天から聞こえた」(22)**がよくこのことを表しています。イザヤ書63章19～64章4節の旧約聖書の御言葉が、イエス・キリストによって成就したのです！

③父なる神様が喜ばれたのは、御子による救いの出来事全体の開始！

「聖霊が鳩のように目に見える姿でイエスの上に降って来た」(22)。ルカのこの報告文で、イエス様が洗礼を受けられた出来事が三位一体なる神様の出来事であったことを知らされます。すなわち、唯一なる神様が、父なる神・子なる神・聖霊なる神としてこの一つの出来事に関係して働いて下さっていることです。しかし、「この出来事」でイエス様の受洗だけを考えると終わってはまだ半分です。この出来事から始まり、後の十字架の死をもって成就する、私たちの罪を赦して下さる神様の恵みの計画全体の出来事を考えて、神様に深く感謝したいと思います。